

# 年間授業計画【新様式】

## 高等学校令和8年度（2学年用）教科

## 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：中村 俊大

山崎 千登勢

使用教科書：（『わたしたちの地理総合 世界から日本へ 改訂版』（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。また、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域に着目して、概念を活用して多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向け構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】 世界地図の図法の特徴や時差、国家の領域や領土問題について、諸資料に基づいて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 地球上での位置・方位・距離を正しく読み取る。また、世界地図の図法の特徴と、それぞれの特徴に適した用途について考察し、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 時差が日常生活や経済活動に与える影響や、地域や国家間の結びつきなどについて学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>第1章 地図とGISの活用 第1節 球面上の世界と地図の活用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 球面上での世界と地図</li> <li>2 時差と生活</li> <li>3 世界地図でとらえる地球</li> <li>4 国家の領域と海洋の役割</li> <li>5 日本の位置と領土問題</li> </ol>	<p>【知識・技能】 地球を球面として捉え、球面上の位置・方位・距離について正しく認識し、季節・気候を生み出すことを理解している。また、日本の位置と領域、領土問題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球体としての地球を把握し、さまざまな図法による世界地図の理解に向けて、作業などに意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>【知識及び技能】 世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ、地球規模の地域的な結びつきについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 様々な地図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説明することができる。また、交通や通信の発達や変化について分析し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際連合や地域機構など国内や国家間のつながりに影響する事象について、主体的に調べて学びを深めようとする態度を養う。</p>	<p>第2節 国家間の結びつき</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国家群による結びつき</li> <li>2 貿易による結びつき</li> <li>3 交通・通信による結びつき</li> <li>4 観光による結びつき</li> </ol>	<p>【知識・技能】 世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけることができている。また、様々な資料を読み取り、地域の結びつきについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 複数の主題図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説明することができる。また、交通や通信の発達変化について分析し、国家間・地域間の格差について考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国内や国家間のつながりに影響する事象について、新聞などを用いて自分なりに課題を見出そうとしている。また、身の回りの様々な地図に興味を持ち、積極的に活用しようとしている。</p>	○	○	○	7
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】 地球上の地形の成り立ちや世界各地の気候に関する基本的な知識を身につける。また、世界の産業の特徴を比較する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 地形や気候などの自然環境と人々の暮らしについて写真や地形図などからとらえ、考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代における世界の産業について、世界の地形や気候などに基づいて成立していることに関心を持ち、深く学ぼうとする態度を養う。</p>	<p>第2章 生活文化の多様性と国際理解 第1節 自然環境と生活文化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地球上の地形のなりたち</li> <li>2,3 山地と平野/海岸部の生活</li> <li>4 地球上の気候のなりたち</li> <li>5 暑い気候に対応した生活</li> <li>6 乾燥した気候に対応した生活</li> <li>7 季節の違いに対応した生活</li> <li>8 寒冷な気候に対応した生活</li> </ol>	<p>【知識・技能】 地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ、それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 地形を活かした人々の暮らしの特徴について写真や地形図などから捉え、地形と生活文化との関連を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて興味・関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。</p>	○	○	○	11
期末考査			○	○		1	

2 学 期	<p>【知識及び技能】 現代世界における言語・宗教の特徴やその変容に関する基本的な知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力】 世界の言語・宗教の分布とその要因を、自然環境や歴史的背景と関連させて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の少数民族や少数民族言語、宗教対立、移民・難民などの現代社会の諸課題について学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>第2節 多文化共生社会と生活文化 1 世界の言語 2 世界の宗教 3 仏教圏の生活文化 4 キリスト教圏の生活文化 5,6 イスラム圏の生活文化 7 世界の多民族・多文化社会 8 社会の形成 ラテンアメリカ 9 多文化社会 オーストラリア</p>	<p>【知識・技能】 世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて、興味・関心をもって積極的に調べようとしている。</p>	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】 世界の農業・工業・第3次産業の特徴と生活文化との関連性について理解する。また、宗教に関する基本的な知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力】 各地の事例地域の学習を通して、経済活動の国内・国際的な発展と、グローバル化による生活文化の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料を通して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 複雑化する世界規模の産業構造を捉えようと試み、複数の資料から主体的に考察し、発表しようとしている。</p>	<p>第3節 1 農業の地域性 2 農業と生活文化 インド 3 工業の発展 4,5 工業の発展による変化 中国 6 工業の発展と国際分業 東南アジア 7 脱工業化の動き 韓国 第4節 グローバル化の進展と生活文化 1~3 地域統合 EU 4,5 グローバル化 アメリカ</p>	<p>【知識・技能】 世界の農業・工業・第3次産業の特徴と生活文化との関連性について理解している。また、世界の産業の特徴を捉え、分布や変化を概観することができる。 【思考・判断・表現】 各地の学習を通して、経済活動の国内・国際的な発展と、グローバル化による生活文化の変容を捉え、主題図や写真などの資料を通して考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の産業や、言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて、興味・関心をもって積極的に調べようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>【知識及び技能】 世界人口の急増によって生じる問題を理解する。また、人口集中の要因を諸資料から読み取り、都市問題が生じる要因を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解し、人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在と解決のための取り組みを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 人口・食糧問題に関する世界の諸問題について、その背景や構造について学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>第3章 地球的課題と国際協力 第1節 人口 1 世界の人口問題 2 自然増減 インドとスウェーデン 3 人の移動と難民問題 4 少子高齢化と人口減少 日本 第2節 食料問題 1 世界の食料問題 2 世界の水問題 3 食料不足の問題 アフリカ 第3節 居住・都市問題 1 世界の居住・都市問題 2 人口集中による都市問題 メキシコシティ・ジャカルタ 3 都市の再開発 ロンドン・ニューヨーク</p>	<p>【知識・技能】 世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解できる。また、都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに、人口集中による都市問題について理解できる。 【思考・判断・表現】 世界の人口問題の特徴や分布を、人口ピラミッドや主題図などの資料から比較・分類しながら整理し、考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人口に関わる世界の諸問題について、その背景や構造を捉え、主体的に考察できる。また、人口移動による都市の人口過密がさまざまな課題と結びついていることを理解し、自らの視点を大切にしながら主体的に考察できる。</p>	○	○	○	8
期末考査			○	○		1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】 エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し、主題図や統計資料をもとに資源の偏在性、有限性、消費における地域格差などの諸課題を読み取る。 【思考力・判断力・表現力】 エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために、化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し、国際協力の必要性、日本とのつながりについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 エネルギー資源の問題や地球環境の問題に関する学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>第4節 1 エネルギー資源の産出・消費と課題 2 鉱物資源の産出と消費 南アフリカ共和国・オーストラリア 3 再生可能エネルギーへの移行 第5節 1 地球温暖化の現状と将来 2 熱帯林の減少 アマゾン・東南アジア 3 砂漠化の進行 サヘル・アラブ海</p>	<p>【知識・技能】 エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し、主題図や統計資料をもとに、鉱物資源の偏在性、有限性、消費における地域格差などの諸課題を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するため、化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギー資源の問題が、自然環境・政治・経済・国際関係などと幅広く関連していることを理解し、世界的な視野からSDGsを達成するために主体的に考察しようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>【知識及び技能】 日本列島の地形や気候のなりたちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解する。 【思考力・判断力・表現力】 日本列島では自然による思慮だけでなく、風水害、火山、地震・津波、都市型災害などが発生することを世界的な視野から捉え、その要因と特徴、災害の地域性、防災や減災への取り組みや課題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 新旧地形図やハザードマップなどを活用し、自らの生活圏の防災に関する学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>第4章 生活圏の諸課題 第1節 自然環境と防災 1,2 日本の地形・気候 3~5 気象災害/火山/地震・津波と防災 6 都市特有の災害と防災 7 防災・減災への心構え 第2節 持続可能な地域づくり 1 生活圏の課題の発見 2~4 地域調査 尾鷲</p>	<p>【知識・技能】 日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解できる。 【思考・判断・表現】 日本列島における自然災害の要因と特徴、地域性を考察し、課題の所在について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の自然環境と災害の特徴とつながりについて当事者として関心を持ち、防災意識を高めることができる。</p>	○	○	○	9
	学年末考査						1
							合計
						78	